



〈表紙写真〉

【大綱引き】  
(渡嘉敷島)



渡嘉敷島は、那覇市の西方約32kmの東シナ海に浮かぶ、面積15.8km<sup>2</sup>、人口742人、世帯数391世帯(H19.7末住基台帳)の慶良間諸島の中で一番大きな島であり、真っ白で美しい砂浜と透明度が高く七色の変化を見せる海が広がる、素朴で人情あふれる風光明媚な島です。農業、漁業、観光産業が盛んで、特に観光産業の振興は村経済の一翼を担っており、観光産業を中心に青年層が定着しつつあります。

その渡嘉敷島で、旧暦6月25日(今年は8月7日)に200年余りの長い歴史をもつと言われている大綱引きが行われました。この島では、渡嘉敷でとれた稻わらで編んだ大綱を、観光客を含む老若男女がそれぞれ一丸となって、東西に分かれて一回限りの勝負をかけて引き合います。東が勝利すれば「豊漁」、西が勝利すれば「豊作豊年」と言われています。

沖縄の  
伝統的工芸品 #3  
**琉球びんがた**

(平成18年12月15日地域団体商標取得)



产地組合:

琉球びんがた事業協同組合  
(昭和59年5月31日伝産指定)

伝統的工芸品とは  
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で経済産業大臣が指定したものといいます。沖縄には13品目が指定されています。

URL:

<http://ogb.go.jp/move/densan/okinawaindex.htm>



# 群星 【むりぶし】 Muribushi C O N T E N T S

|      |  |   |
|------|--|---|
| 01   | <b>地域の目</b><br>「アジアの架け橋を目指して」                    | 株式会社かりゆしエンターテイメント<br>代表取締役社長<br>長嶺 栄子   |
| 特集   | 02   | <b>総務部</b><br>平成20年度内閣府沖縄担当部局予算概算要求   |
| 04   | <b>開発建設部</b><br>那覇空港の総合的な調査・PIステップ3              |   |
| 仕事の窓 | 08   | <b>仕事の窓 財務部</b><br>金融商品取引法の施行について   |
| 10   | <b>仕事の窓 農林水産部</b><br>平成19年度「食育月間」における食育推進の取組について |   |
| 12   | <b>仕事の窓 経済産業部</b><br>中小企業地域資源活用プログラム             |   |
| 14   | <b>仕事の窓 経済産業部</b><br>通商白書2007 生産性向上と成長に向けた通商戦略   |   |
| 15   | <b>仕事の窓 運輸部</b><br>「フェリーたらまゆう」就航について             |   |
| 16   | <b>仕事の窓 運輸部</b><br>FRP船リサイクルシステムがスタートします!        |   |
| 局の動き | 17   | <b>経済産業部</b><br>第3回沖縄地域エネルギー・温暖化対策推進会議を開催<br><b>開発建設部</b><br>優良業者等表彰式を開催<br><b>運輸部</b><br>平成19年『海の月間』について |
| 18   | <b>なかゆくい *シリーズ</b><br>普通財産のはなし                   |   |
| 20   | <b>内閣府だより</b><br>「アジア青年の家」構想について                 |   |
| 21   | <b>お知らせ</b>                                      |   |

**琉球びんがた**の起源は、14～15世紀頃の海外貿易により中国、インド、ジャワの更紗(さらさ)等から染色技術が伝えられたと言われています。沖縄の自然豊かな色彩を表現する鮮やかな美しい染物で、王朝時代は、王家や士族の礼服でした。王家の衣装は黄色、貴族は水色と、色や模様の大きさで身分に応じて区別され、一般庶民には、長寿の祝い着としてのみ着用が許されました。王府の手厚い保護の下で生産され、19世紀初めの歴史書には琉球の紅型(びんがた)が東洋花布と称され、福建市場において名高い貿易品であったことが記されています。

技法は、型染と筒引きがあります。型染は、型紙を用いて糊防染し、その上から顔料(鉛物)と植物染料で色差しをするものです。筒引きは、糊袋で糊防染し、その上から色差しをするものです。

最近は、首里織と連携して新商品の開発に取り組んでおり、伝統的工芸品の新たな可能性に挑戦しています。

